

第 9 編

教 育



館山市指定有形文化財「孫真人玉函方」

— 內 容 —

- 1 教育主要施策
- 2 教 育 費
- 3 学 校 教 育
- 4 社 会 教 育
- 5 社 会 体 育

1 教育主要施策（27年度）

人間性豊かな教育・体育・スポーツ・芸術・文化の発展をめざす。

（学校教育）

（1）教育内容及び方法の充実・改善

- ① 幼稚園教育の充実
- ② 「生きる力」を育てる特色ある教育課程の編成と実践
- ③ 「開かれた学校（園）」づくりの具現
- ④ 「総合的な学習の時間」の一層の工夫改善
- ⑤ 生徒指導の充実（いじめ防止対策）
- ⑥ 長欠対策の推進
- ⑦ 特別支援教育の充実
- ⑧ 道徳教育・人権教育の充実
- ⑨ 文化と伝統の尊重と国際理解教育の推進
- ⑩ 図書館教育の充実
- ⑪ 環境教育の充実
- ⑫ 食に関する指導事業
- ⑬ 健康体力づくりの推進
- ⑭ 安全・安心な教育の推進（防災対策）
- ⑮ 学校事務共同実施研究の推進
- ⑯ 研究委託・研究助成の推進
- ⑰ 活力ある学校づくり（再編協議含む）の推進

（2）教職員研修の充実

- ① 校内研修活動の活性化
- ② 各種研修会等への主体的な参加
- ③ 館山市教育振興会活動の充実

（3）教育環境の整備

- ① 学校環境の整備
- ② 教育機器（コンピュータ）・教材教具・理科教育設備の整備充実
- ③ 学校図書の充実
- ④ 電子黒板（市内小中学校）導入による学習支援

（4）幼児・児童・生徒の保健及び検診体制の充実

- ① 各種検診の実施
- ② 生活習慣病対策事業の実施

（5）学校給食の実施

- ① 安全で栄養バランスのとれた給食の提供
- ② 食物アレルギー等への食に関する安全対策
- ③ 地産地消への取り組み

(社会教育)

(1) 学社融合の推進

館山市教育基本計画に基づき、学校教育と社会教育のそれぞれが持つ教育機能を十分に発揮できるよう、学社融合の視点に立った新たな教育活動の創出に努め、「マイスクールボランティア事業」の充実・拡大を図る。

(2) 子どもの居場所づくり・ふるさと学習の推進

子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、放課後に小学校の余裕教室等を活用し、「放課後子ども教室」を実施する。

また、週末の自然体験活動など、ふるさとを見直し再発見する「ふるさと学習」を推進する。

(3) 社会教育団体の育成支援

ボーイスカウトやガールスカウト、PTA、子ども会など、地域に根ざした社会教育団体の自主的な活動を支援する。

(4) 青少年教育の充実

家庭・学校・地域と連携し、意識の高揚を図るとともに、地域ぐるみの青少年健全育成を推進するため、青少年相談員の活動を支援する。

(5) 文化の創造と発信

市民が主体となった独自の地域づくりや、交流の促進に向けた多様な文化の創造を開催目的とし「全国大学フラメンコフェスティバル」を開催するとともに、体験の場として「出前フラメンコ教室」を開催する。

(6) 豊かな文化の継承と振興

「館山市文化祭」など、市民が活動主体となって行う行事を支援し、発表の場および文化の創造に参加する機会を提供する。また、国指定史跡「里見氏城跡 稲村城跡」の保存管理を進めるほか、青木繁《海の幸》に関わる文化財や歴史遺産としての戦争遺跡など、地域資源としての文化財の保存と活用を図る。

(社会体育)

(1) 生涯スポーツの推進

(2) スポーツ観光の推進

(3) 社会体育関係委員

(4) 社会体育関係団体

(5) 学校体育施設開放

(6) 公営社会体育施設

- ① プール
- ② 市民体育館
- ③ 西岬市民体育館
- ④ 市民運動場
- ⑤ 第一柔剣道場
- ⑥ 弓道場

2 教育費

平成27年度当初予算 2,682,279千円

一般会計に占める割合 14.1%

内訳	教育総務費：182,523千円	6.8%	幼稚園費：534,466千円	19.9%
	社会教育費：278,357千円	10.4%	小学校費：760,707千円	28.4%
	保健体育費：577,973千円	21.5%	中学校費：348,253千円	13.0%

3 学校教育

(1) 市内小・中学校一覧

平成27.5.1現在（学校基本調査）

学校名	教員数	児童数	学級数	学校名	教員数	生徒数	学級数
船形小	15	141	8	第一中	21	205	8
那古小	23	274	14	第二中	27	334	12
北条小	42	760	29	第三中	35	523	18
館山小	29	417	17	房南中	14	75	5
西岬小	11	63	7	計	97	1,137	43
神戸小	13	135	8				
富崎小	休校中						
神余小	10	21	6				
豊房小	13	85	8				
館野小	14	159	8				
九重小	13	78	8				
計	183	2,133	113				

(2) 市内幼稚園一覧

平成27.5.1現在

園名	3歳児	4歳児	5歳児	園児数計	組数	教員数
船形こども園		8	4	12	2	3
那古幼稚園		8	23	31	2	4
北条幼稚園		66	77	143	6	10
館山幼稚園		42	39	81	5	9
西岬幼稚園		4	5	9	1	3
房南こども園		10	17	27	2	3
豊房幼稚園		5	11	16	2	3
館野幼稚園		15	14	29	2	3
九重こども園		6	4	10	2	3
(私)白百合幼稚園	21	25	18	64	5	7
計	21	189	212	422	29	48

(3) 学童災害共済制度 (市条例)

学校管理外において、交通事故以外の災害を受けた児童・生徒を救済するため、昭和47年4月制定。

① 掛 金…各年度につき、加入者1人 100円

② 共済見舞金

平成27.4.1現在

等級	傷 害 の 程 度	共 済 見 舞 金 の 額	
		団体活動下の災害	その他の災害
1	死亡した場合	1,000,000円	300,000円
2	治療期間1年以上	150,000円	50,000円
3	〃 6月以上1年未満	100,000円	30,000円
4	〃 3月以上6月未満	50,000円	20,000円
5	〃 2月以上3月未満	30,000円	15,000円
6	〃 1月以上2月未満	20,000円	10,000円
7	〃 1週間以上1月未満	10,000円	3,000円

③ 支給状況 (平成26年度)

団 体 活 動 下 17件 400,000円

その他の災害 47件 444,000円

(4) 学校給食

学校教育活動の一環として、児童・生徒の望ましい食習慣の育成や心身の健全な発達を図るため、安全かつ栄養バランスのとれた学校給食の提供。

調理業務、配送業務を民間業者に委託。

①学校給食費

(※) こども園、私立幼稚園を除く

区 分	幼 稚 園 (※)	小 学 生	中 学 生
一食 (月額)	246円 (4,200円)	246円 (4,200円)	287円 (4,900円)

②給食提供数 1日平均 3,950人 (平成27年5月平均)

4 社会教育

(1) 社会教育関係委員等

平成27年度

区 分	人員 (人)	任期(年)	定例会議数 (回)
社会教育委員	12	2	2
中央公民館運営審議会委員	5	2	1
地区公民館運営審議会委員	20	2	1
文化財審議会委員	7	2	2
図書館協議会委員	8	2	1
社会教育指導員	3	1	—
家庭教育指導員	1	2	—
博物館協議会委員	7	2	1 (予定)

(2) 社会教育関係団体

平成 27. 4. 1 現在

団 体 名	所属団体数	会員数(人)
子ども会	63	2,366
ボーイ・スカウト	1	41
ガール・スカウト	1	41
館山市PTA連絡協議会	小10・中4	3,541
館山市芸術文化協会	27	2,467
青少年相談員連絡協議会	1	95

(3) 社会教育施設 (平成27年度)

種 類	館 数	構 造	面 積 (㎡)	職 員 数 (人)			利用状況等	
				専任	特別職	非常勤		
博 物 館	本館	1	鉄筋コンクリート 2階	1,957	5		8	65,970人
	館山城	1	鉄筋コンクリート 4階(3層)	492			2	
	分館	1	鉄筋コンクリート 3階	2,662 展示室 収蔵庫				89,679人
図 書 館		1	鉄筋コンクリート	822	5		5	所蔵資料点数 149,387点 貸出資料点数 145,021点 登録者数 7,543人
公 民 館	中央	1	鉄筋コンクリート	1,428	5	2	5	146,318人
	地区	11	鉄筋コンクリート 及び木造	2,285		20	11	69,129人 (北条地区公民館を除く)
学 習 等 供 用 施 設	北条地区	1	鉄筋コンクリート	699				中央公民館に含まれる
	中央地区	1	鉄筋コンクリート 2階	741		2	2	35,927人 菜の花ホール
	豊津地区	1	鉄筋コンクリート 2階	531			2	19,143人 豊津ホール
	那古船形 地区	1	鉄筋コンクリート 2階	1,211				11,598人 若潮ホール

※ 利用状況については、平成26年度中の利用者数

※ 図書館の所蔵資料点数、貸出資料点数及び登録者数は、平成27年3月末現在

(4) 公民館講座、家庭教育学級 (平成26年度 中央公民館実績)

区 分	講 座 数	開 催 回 数	延参加者数
青少年教育	5講座	36回	477人
成人教育	3講座	17回	915人
家庭教育	3講座	42回	2,155人
家庭教育学級	19学級	42回	1,771人

(5) 指定文化財

平成 27. 4. 1 現在

区 分	有形文化財	無形文化財	民俗文化財	史 跡	天然記念物	合 計
国指定	2	—	2	1	—	5
県指定	12	2	4	3	4	25
市指定	36	—	14	9	9	68
合 計	50	2	20	13	13	98

主なもの

国指定重要文化財……………梵鐘（弘安九年在銘）、銅造千手観音立像、房総半島の漁撈用具、茂名の里芋祭り、里見氏城跡 稲村城跡

県指定有形文化財……………那古寺多宝塔附木造宝塔、繡字法華経普門品、大巖院四面石塔附石製水向、小網寺鑄銅密教法具、手力雄神社本殿、那古寺観音堂附厨子、木造阿弥陀如来坐像、木造如来形坐像、絹本著色僧形八幡神像、県立安房南高等学校旧第一校舎、石井家住宅、観世音経孔雀王咒経附那古寺文書

県指定無形文化財……………館山唐棧織、綴錦織

県指定天然記念物……………沼サンゴ層、洲崎神社自然林、布良の海食洞と鍾乳石、南房総の地震隆起段丘

県 指 定 史 跡……………安房神社洞窟遺跡、鉦切洞穴、安房国分寺跡

県指定有形民俗文化財…神余の弘法井戸、房総半島の万祝及び製作関連資料

県指定無形民俗文化財…洲崎のミノコドリ、安房やわたんまち

5 社会体育

(1) 生涯スポーツの推進

各種スポーツイベントの開催や、他団体が主催するスポーツイベントを支援し、より多くの市民にスポーツを楽しむ機会を提供する。

① スポーツイベントの開催

館山若潮マラソン大会、館山わかしおトライアスロン大会等 11大会
約16,000人参加（平成26年度）

② スポーツイベントの支援

館山オープンウォータースイムレース、ステーションライド in 南房総等

(2) スポーツ観光の推進

① 各種スポーツイベントの開催、支援を通じて、県内外へ広く参加を呼びかけ、交流人口を拡大し、地域経済の活性化に繋げる。

② スポーツキャンプ等の誘致プロサッカーチーム、社会人野球チームなどのキャンプを誘致し、館山市の情報発信や地域経済の振興を図る。

③ 2020年東京オリンピック・パラリンピック館山市推進本部を設立し、事前キャンプ誘致等の活動を推進する。

(3) 社会体育関係委員

スポーツ推進審議会委員（任期2年） 10人
 スポーツ推進委員（任期2年） 22人

(4) 社会体育関係団体

館山市体育協会 25部 約4,000人
 館山市婦人スポーツクラブ 3団 40人
 館山市スポーツ少年団 31団 団員493人 指導者154人
 館山ファミリースポーツクラブ“わかしお” 会員238人 活動 16種目

(5) 学校体育施設開放

学校体育施設開放(平成26年度 小中学校)

グラウンド 14校 延 559回 延 16,098人
 体育館 14校 延 4,976回 延 62,886人
 武道館・柔剣道場 3校 延 170回 延 1,158人
 プール 10校 延 186回 延 6,348人

(6) 公営社会体育施設

① プール	25m室内温水プール	50mプール
敷地面積	2,116.44㎡ (内駐車場 835.88㎡)	27,004㎡ (内駐車場 50台収容)
完成年月日	昭和45年10月30日	昭和25年3月6日
工事費	84,632千円 (土地購入費 13,973千円)	6,000千円
構造	鉄骨造2階建	補強コンクリートブロック造平屋建
面積	1階 1,101.79㎡ 2階 215.36㎡	1階 187.60㎡
合宿収容人員	40名	
規模	25m×15m 7コース	50m×25ヤード 9コース
水深	1.3m～80cm	1.5m～1.3m
観覧収容人員数	2階観覧席 46名	600名
利用人員(平成26年度)	21,813人	5,548人

○ 使用料 (市民以外は5割増)

区 分		25m室内温水プール (2時間までごとに)	50mプール (2時間までごとに)
プ ー ル	個人使用	一般	390円
		中学生・高校生	220円
		小学生以下	150円
	専用使用	1コース	2,350円
合宿所 (プール使用を 含む)	一般	1人1泊	2,200円
	中学生・高校生	〃	1,570円
	小学生以下	〃	1,090円
付属設備使用	コインロッカー		30円

② 市民体育館

構造、面積	鉄骨造(新日鉄スタンパッケージ工法) 1,291.407 m ²		
施設の内容	体育室(850 m ²) トレーニング・フロア(200 m ²)		
	玄関ホール、更衣室、便所、用具室、放送室		
	バスケットボールコート 1面 (練習用2面)		
	バレーボールコート 2面 バトミントンコート 3面		
建設費	130,100千円	財源内訳：国庫補助金	20,419千円
		地方債	100,100千円
		一般財源	9,581千円
利用人員	13,651人(平成26年度)		

○ 使用料 (市民以外は5割増)

区 分		専用使用 (2時間までごとに)
体育館 (1/2面) 練習用バスケットコート (1面分)	一般	940円
	中学生・高校生	540円
	小学生以下	390円
附属設備使用	球技用器具 1種目一式	220円
	軽スポーツ用器具 //	150円
	放送設備 一式	460円

③ 西岬市民体育館

構造、面積	鉄筋コンクリート平家建 548.5 m ²		
施設の内容	更衣室、用具室		
	バスケットボールコート 1面 バレーボールコート 1面		
	バトミントンコート 3面		
建設費	74,962千円	財源内訳：国庫補助金	18,550千円
		地方債	28,700千円
		一般財源	27,712千円
利用人員	10,345人(平成26年度)		

○ 使用料 (市民以外は5割増)

区 分		専用使用 (2時間までごとに)
体 育 館	一般	940円
	中学生・高校生	540円
	小学生以下	390円
附属設備使用	球技用器具1種目一式	220円
	軽スポーツ用器具1種目一式	150円
	放送設備一式	460円

④ 市民運動場

敷地面積	39,437.62㎡	
竣工	昭和53年3月	
建設費	22,540千円	
規模	野球場	1面
	庭球場	4面
	多目的グラウンド	10,000㎡ 1面
利用人員（平成26年度）	野球場	6,782人
	テニスコート	4,035人
	多目的グラウンド	12,252人
	計	23,069人

○ 使用料 (市民以外は5割増)

区 分		専用使用 (2時間までごとに)	個人使用 (2時間までごとに)
野 球 場	一般	2,350円	
	中学生・高校生	1,410円	
	小学生以下	940円	
多目的グラウンド	一般	1,410円	
	中学生・高校生	940円	
	小学生以下	700円	
庭 球 場	一般	1,090円	220円
	中学生・高校生	780円	130円
	小学生以下	630円	90円

※ 料金は各1面の料金とする。

⑤ 第一柔剣道場

構造	鉄骨平家建		
規模	440.18㎡(柔道場182㎡、剣道場182㎡、その他)		
完成	昭和50年3月		
工事費	31,300千円	財源内訳：	国庫補助金 5,866千円
			東京都補助金 10,000千円
			一般財源 15,434千円
利用人員	5,800人 (平成26年度)		

○ 使用料 (市民以外は5割増)

区 分		専用使用 (2時間までごとに)
柔 道 場	一般	940円
	中学生・高校生	540円
	小学生以下	390円
剣 道 場	上記と同額	

⑥ 弓道場

	弓道場	弓道遠的射場
敷地面積	881.50㎡	約1,340㎡
完成年月日	昭和45年2月	平成3年10月
工事費	3,100千円	
構造	木造平屋建	
建床面積	172.98㎡	
規模	射距離28.27m 6人立	射距離60m 5人立
利用人員(平成26年度)	3,673人	49人

○ 使用料 (市民以外は5割増)

区分	午前(9:00~12:00)	午後(13:00~17:00)	夜間(17:00~21:00)
専用使用	1,090円	1,570円	1,890円
個人使用	150円	150円	150円

※ 遠的射場は夜間の使用不可

⑦ 出野尾多目的広場

敷地面積 17,596㎡

開設 平成7年3月

建設費 33,211千円 (除く芝播種工事)

規模 多目的芝生グラウンド 15,651㎡

サッカー 2面 少年サッカー 4面

ゲートボール 16面 グラウンドゴルフ 6面

利用人員(平成26年度) 14,785人

○ 使用料 (市民以外は5割増)

区分	専用使用(2時間までごとに)	
コート1面 (1/2面)	一般	2,000円
	中学生・高校生	1,500円
	小学生以下	1,000円



若潮マラソン